

主催者の皆様へ

催事中に火災・地震などが発生した場合は、主催者は次の点に留意し、ご協力をいただきますようお願いいたします。

火災の場合

1. 避難誘導経路の確認

◆主催者は非常時に備え、事前に利用施設付近の避難口、避難誘導経路、消火器、屋内消火栓の設置場所を確認してください。

※避難動線口、経路等については下記のURLで確認ください。

<https://www.nagoya-congress-center.jp/organizer/facility/download/hinan/>



避難経路図

◆公演または催事中に火災が発生した場合は、避難誘導等を行っていただきます。係員(誘導・通報・消火係)を決めておいてください。

※催事内容によっては催物開催届を提出していただきます。

※特にホール(センチュリーホール、イベントホール等)をご利用の場合は、運営スタッフにも周知徹底をお願いします。

2. 火災発生時の通報連絡

◆火災を発見した場合は、管理事務室に火災の場所と状況について連絡ください。

管理事務室 (内線)1030

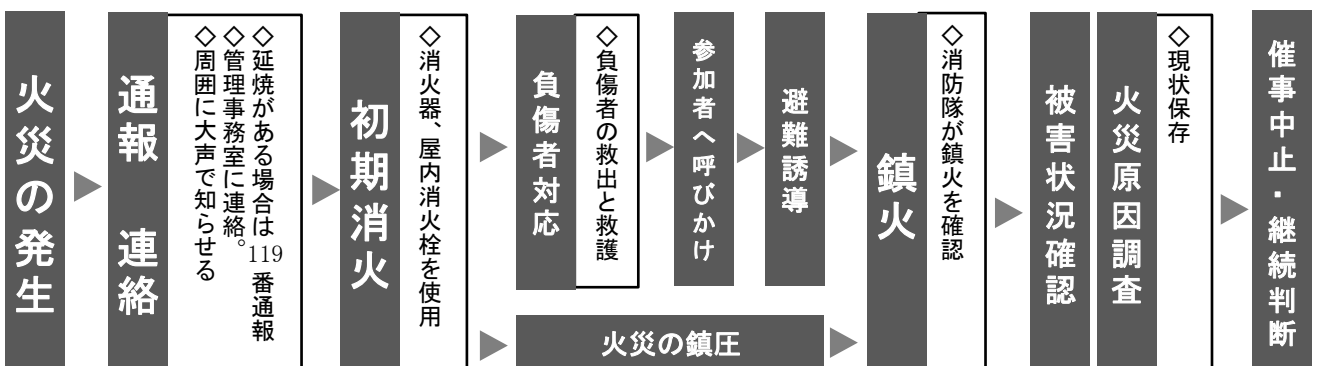
代表電話番号 (外線)052-683-7711

◆火災延焼がみられる場合には、先に119番通報をしてください。

◆消火器、屋内消火栓を使用して初期消火活動を行ってください。

◆初期消火で鎮火しない場合は、速やかに避難誘導を行ってください。

火災発生時の会議場全体の流れ



地震の場合

身の安全確保

- ◆主催者は火災発生の場合と同様に、事前に利用施設付近の避難口、避難誘導経路を確認してください。※避難動線口、経路等については下記のURLで確認ください。
<https://www.nagoya-congress-center.jp/organizer/facility/download/hinan/>
- ◆揺れがおさまるまでは各自で身の安全を確保するように呼びかけてください。
- ◆照明など吊り物の下は危険です。頭を防護しながら落下物の恐れのない場所に移動してください。
- ◆名古屋国際会議場の建物は、震度6弱まで耐えうる設計になっています。慌てて屋外に出ることは状況によりたいへん危険です。避難が必要な場合は、会議場より案内をします。

避難の判断基準(名古屋国際会議場で地震が発生した場合)



避難経路図

地震発生時の避難および催事の続行についての判断基準は以下のとおりです。

震度4以上

全館放送で地震の状況をお知らせします。
各会場の備品(照明器具・バトン等)状況を確認し、安全確認後、主催者と協議の上、催事を継続するか否かを判断します。

震度5強以上

避難場所として周辺住民に会議場内の施設を開放するため、催事を中止していただく場合があります。
催事が中止になった場合は、公共交通機関の運行状況を確認し、各自の責任のもと帰宅していただくようご案内ください。
帰宅が困難な参加者については、管理事務室にご相談ください。

地震発生時の会議場全体の流れ

